

# 同帰の道

# 工業教育の実践

## 社会貢献



題字 古 沢 満

発行所  
三池工業高校同帰会  
大牟田市上官町4丁目77  
TEL.(0944)53-3036  
FAX.(0944)52-1832  
発行人 大佐古 康彦  
編集委員長 久保 彪 吏  
印刷所 文栄堂印刷



### 平成22年度 同帰会総会のご案内

- 日時 平成22年11月12日(金)  
18時30分開会
- 場所 オームタガーデンホテル 鳳凰の間
- 会費 6000円

申込は学校事務局 ☎53-3036  
(中村) に10月20日までにお願  
い  
します。

### 「龍城が丘」で過ごした青春時代の 思いを胸に多くの同帰の友を得よう



同帰会会長 大佐古 康彦  
(昭25機)

猛暑も過ぎ過ぎ易い季節となり、会員の皆様にはご健勝の事と存じます。  
母校創立百周年も、皆様方の絶大なるご協力により好評裡に終わりましたことを深く感謝致しております。

時の立つのは早いもので、あれから2年近くが過ぎました。本部では11月12日(金)に本部総会を開きますので、お誘い合わせのうえ多数のご出席を心よりお待ちしております。  
今年の機関紙「同帰」で今後の同帰会運営方針として3項目を提案いたしました。会則の見直しについては改正案が出来上がり、慶弔規則と旅費規則も完了致しました。

### 「新しい伝統の芽生え」



校長 田中 廣茂

同窓生の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のことと拝察致します。

一昨年は学校創立百周年記念式典を大成裡に終えることができました。このことが、在校生や教職員の自信と誇りへと確実に繋がっており、「師弟同行」を旨に教育活動が大きく前進しております。

現在、部活動や資格取得、ものづくりを柱に掲げて教育活動をすすめております。また、ものづくりの一環として知的財産権に関する創造教育にも学校を挙げて力を注いでいます。

資格取得につきましては、全国の工業高校生の資格取得を奨励する制度として、ジュニアマスタースター顕彰制度が設けられています。本校では、年度を経る

に従って取得者数が飛躍的に増加し、本年度の前期取得者数はこれまでに最高の94名に上り、全国工業高等学校の上位に位置する快挙であり生徒の努力が確実に実を結んでいます。

現在、資格取得に対する取り組みの軸をより専門性の高い、難関といわれる国家資格へ移しているところ。意欲を持つ生徒は果敢にチャレンジし、大きな成果を挙げています。

平成17年度に大学程度の専門知識が必要とされる、「ダイオキシン類関係公害防止管理者」の国家試験に、本校生徒2名が在学中に合格しています。しかしながら現在の在校生には、5年前の実績を身近に感じるところが難しいようです。

このような中、昨年度工業化学科2年井元純平君が「ダイオキシン類関係公害防止管理者」試験にチャレンジし、見事に合格を果たしました。高校生の合格者は井元君を含めて全国で4

残り「組織の拡大」と「資金の確保」については、先ず「組織の拡大」を強力に進めてゆきますので皆様方のご協力をお願い致します。

また、定時制課程にあつては、昨年引き続き全国大会につながる「高校生ロボット競技福岡

### ホームページがリニューアルします

10月1日よりホームページが新しくなります。これから学校や本部や各遠隔地支部の新しい情報をどんどん更新していきますのでいろいろと活用してください。またWeb名簿システムを利用できます。尚、Web名簿は2004年同帰会会員名簿を電子化したものです。詳しくは同封の用紙またはホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.web-dousoukai.com/doukikai/>

県大会」への出場を目指してロボット製作に取り組みなど、昨年以上にものづくりや資格取得に励む生徒が多くなり成果を収めています。

終わりになりますが、同窓生の皆様におかれましては、今後とも本校教育発展のために、なお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い致しますと共に、皆様を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

日本の近代化は幕末に西洋技術を導入して以来、飛躍的に進みました。その中心的な地域が九州・山口といわれています。この地域はアジア大陸に地理的にも近く古くから海外の窓口として、諸外国の文化や技術を取り入れてきました。九州・山口の6県12市で構成する「九州・山口の近代化遺産群」の構成遺産として、平成21年1月15日にユネスコの世界遺産暫定リストに掲載されました。本登録に向け各自治体では一層の運動を展開しています。九州の石炭は明治期に発展した洋式採炭技術で増産され、後期に入り日本の産業革命が進むとエネルギー源として石炭の需要が増えました。石炭産業は国内産業に根ざしたエネルギー源としての性格を強めはじめました。高島・三池・筑豊と豊富な石炭の産地がありますが、なかでも三池炭鉱は早くから西洋技術を導入し日本の近代化に貢献し発展してきました。明治の時代から大正・昭和と更に平成の時代へと掘り続けてきました。平成9年3月に惜しまれながら三池炭鉱は閉山しました。然し各所に当時の技術を導入し活躍した坑口が、産業景観として残っています。母校も明治41年の創立以来、炭鉱や石炭化学コンビナートの工場で、在校生は実習の場として知識や技術を学び、学んだ技術を駆使し活躍の職場とされ会社の発展の一翼を担った人も数多くおられる事と思います。遺産とされるなかには、今も三池港の閘門のように稼働している施設などもあります。日本の近代化や地域の発展に貢献した遺産は大牟田近代化遺産として後世に残していかなければならないと思います。

### 電気機関車

一八九一(明24)年開通。石炭や関連工場の製品を輸送した炭鉱専用鉄道。廃止後、三井化学専用鉄道として残り約一・八km J Rに接続運行している。一九〇九(明42)年電化工事が始まり電気機関車が登場。一



### 三井化学J工場

三井化学の工場群のなかで特に目立つのは、一九三八(昭13)年に竣工したJ工場である。鉄筋コンクリート七階建。当時は「東洋一」の高さを誇る四七mで大牟田のシンボルの存在だった。

大牟田では、炭鉱で石炭を採掘するだけでなく、石炭からコークスを作る際の副産物を利用して肥料製造などの化学工場群が形成され、その建物の代表がJ工場である。三井化学の歴史は、石炭と別かれを告げた今日もなお、技術革新を進め大牟田を支える産業として発展している。大牟田工場で生産された製品がなければ、今の私達の生活が成り立たないほど産業界に浸透している。

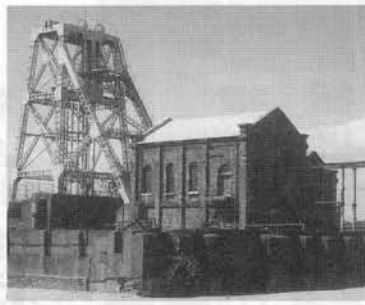


### 宮浦坑跡



九一年に輸入されたドイツのシーメンス社製のものをはじめとして多くの電気機関車が走っていた。今も一九三七(昭12)年製造の電気機関車が元気に貨物を輸送している。一時期は、地方鉄道の免許を得て旅客輸送も行い「炭鉱電車」と住民の身近にあつて愛着をこめて呼ばれたこともあった。

### 万田坑跡



宮原坑の南約一・五kmの位置に三井の総力を挙げてつくられた、わが国最大規模の堅坑である。一九〇二(明35)年に第一堅坑が開坑。一九〇八(明41)年に第二堅坑が開坑。大正から昭和にかけて、各施設を電化するなど機械も充実し出炭量も増大。万田坑最盛期には、年平均八六万屯を出炭。採炭効率低下のため、一九五一(昭26)年閉坑。

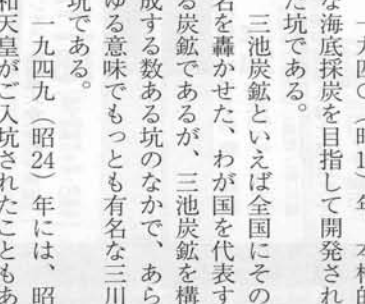
現在、第二堅坑の櫓、巻揚機室、ポンプ室、山の神祭祀施設などが保存され、櫓など補修が終了平成二十二年四月より一般公開。国の重要文化財・史跡に指定。

### 三池港閘門



歴史は古く、宮浦下げの直前一八八八(明21)年に開坑。三池炭鉱の主力坑として活躍。一九二三(大12)年に従来の立坑から斜坑の開きを始める翌年九月から宮浦大斜坑として揚炭を開始。新しい斜坑にはエンドレスロープを設置。出炭量も増えその後、ベルトコンベア輸送に変わ

### 三川坑跡正門



一九四〇(昭15)年、本格的な海底採炭を目指して開発された坑である。三池炭鉱といえは全国にその名を轟かせた、わが国を代表する炭鉱であるが、三池炭鉱を構成する数ある坑のなかで、あらゆる意味でもっとも有名な三川坑である。一九四九(昭24)年には、昭和天皇がご入坑されたこともある。一九六〇(昭35)年には、おおよそ一年近くわが国労働史上最大の争議である三池争議。一九六三(昭38)年の炭塵爆発事故が起き、多くの犠牲者を出すとともに、三池港を利用し外国から訪れる高級船員の宿泊や接待の場所、あるいは政財界の迎賓館として広く利用されてきた。建物も、木造二階建てで瓦葺木骨洋式で木骨を見せているのが特徴。明治を代表する優美な洋風建築物として日本建築学会より文化財の対象建築の推せんを受けている。

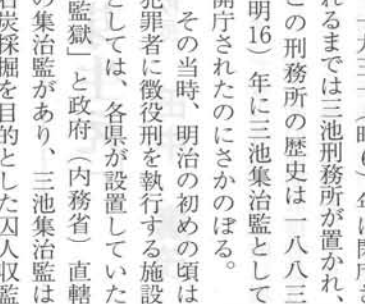
現在、格調高い古典的雰囲気、総合結婚式場、レストランとして営業している。

### 有明鉱跡



三池港は、一九〇二(明35)年に着工し六年の歳月をかけて一九〇八(明41)年、三井の私有港で石炭の積出港として開港。渠内と内港と航路からなり、渠内と内港の間に閘門(水門)が設けられている。有明海は遠浅で干満の差が五・五mと大きい。ため干潮時でも大型船が荷役できるといわれる。二枚の水門が保たれるよう八・五mの水位が保たれるよう二枚のイギリス製の鋼鉄製閘門が取り付けられている。三池港の近代化遺産として価値を構成するものも重要な要素を持つ閘門は、一〇〇年を過ぎた現在も動いている。港は現在でも重要な港湾とし航路の拡張工事などが進められており物流の拠点として炭鉱閉山後の地域振興に欠かせない存在である。

### 三池集治監外堀



一九三一(昭6)年に閉坑されるまでは三池刑務所が置かれ、この刑務所の歴史は一八八三(明16)年に三池集治監として開坑されたのにかのほる。その当時、明治の初めの頃は犯罪者に徴役刑を執行する施設としては、各県が設置していた「監獄」と政府(内務省)直轄の集治監があり、三池集治監は石炭採掘を目的とした囚人収監施設。高さは、約五mでレンガ造りで県指定文化財。明治の赤レンガ塀が果立つ卒業生を暖かく見続けている。

現在、格調高い古典的雰囲気、総合結婚式場、レストランとして営業している。

### 宮原坑跡



一八九八(明31)年から石炭の採掘を始めた、明治後期から大正期における三池炭鉱の主力坑の一つで、年間四〇万屯を越す出炭を誇った。現在は、一九〇一(明34)年に完成した第二立坑の櫓と施設が残っている。第二立坑は人員昇降を主として、揚炭、排気、排水を兼ねていた。櫓は鋼鉄製で高さ二二mで保存の為に塗装工事などが行われている。また、宮原坑では近くの三池集治監に収監されている多くの囚人を使った「囚人労働」が行われていた。一九三一(昭6)年に閉坑。国の重要文化財と史跡に指定。

### 有明鉱跡



有明坑は、日鉄鉱業(株)が一九五八(昭33)年に高田町地先に人工島を構築したことに始まり、一九六七(昭42)年二つの立坑の工事は完成したが、幹線坑道を掘進中に断層や大量の湧水で工事は中断する。その後、一九七二(昭47)年に三井鉱山が開発を継続。一九七六(昭51)年から出炭を開始。一九八九(平元)年から三池炭鉱となる。このとき人員昇降坑口を有明坑に一本化される。三池炭鉱は一九九七(平9)年三月に閉山。現在はZ型の櫓と台形型の櫓の二つが残っている。

現在、格調高い古典的雰囲気、総合結婚式場、レストランとして営業している。



石炭産業科学館



万田炭鉱館



# 遠隔地支部・クラス会活動報告

## 第55回東都同帰会総会

第55回東都同帰会総会は6月19日(土)11時より、皇居半蔵門近くの「グラントアーク半蔵門」に於いて開催されました。



学校から中島教頭、同帰会本部から大佐古会長、黒田副会長、中村事務局長、関西支部から竹下副幹事長、古閑幹事、中京支部から野田会長の7名の御来賓のご出席をいただきました。

大田幹事(昭37採)の総会司会挨拶後、参加者全員が物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

総会では上田副会長(昭30採)の開会宣言に始まり、江崎会長(昭29化)が、来賓の方々への出席の御礼と会長挨拶をされました。

その中で、会員の高齢化による減少、同帰会への関心の

## 第27回関西同帰会総会

(前夜祭)  
平成22年5月22日(土)、翌日の総会に出席して頂く母校の中島教頭先生、蓮尾先生(事務局長・昭50化)同帰会本部大佐古会長、黒田副会長、東都同帰会上田副会長、関幹事をJR京都駅で奈良岡会長、弘幹事長、竹下副幹事長が迎えられました。

今年度は平成遷都1300年



祭、大河ドラマ龍馬伝の寺田屋、世界遺産の平等院、花鳥園(神戸)等の候補地が幹事会で検討され、時間的及び交通アクセスから寺田屋から世界遺産の平等院を見学することになりました。

京都駅で出迎えた後、車で昼食場所の伏見の「きらく」へ。ここで関西同帰会の浜本、内藤、古田、古閑等と合流し昼食の後、「寺田屋事件」の舞台となりました寺田屋へ。寺田屋は大阪と京都間の通船「三十石船」の船付場を持つ船宿で薩摩藩の定宿と指定された大変な繁盛で、龍馬も薩摩藩の紹介で京の宿として利用していたそうです。

坂本龍馬の愛した部屋、慶応二年龍馬が捕方に襲撃された部屋、刀痕の有る柱、湯に入っていた龍馬の愛人お龍が捕方に気付き裸のまま駆け上がった階段等を見ました。

その後世界遺産平等院へ、

薄さに危機感を感じ、同帰会に対する意識の低さを打破するため、三池工業高校、同帰会本部、各支部と連絡をとりながら協力し合い長期的な方針が必要である、と述べられました。その後、江崎会長を議長に選出し、議案の審議に入りました。

審議は、総会資料により、平成21年度活動報告、会計報告、会計監査、さらに平成22年度の活動計画案、予算案について資料により発表を行い、満場一致で承認されました。

司会者から、来賓者の紹介の後、最初に同帰会本部の大佐古会長から、昨年の本総会で「今後、本部として、1、組織の拡大 2、資金の確保 3、会則の見直しを推進し



の活躍など学校の近況を資料により報告されました。

入学式から始まって、行事スケジュールや「有明新報」への掲載された記事の紹介、最近のスポーツ関係の活躍などについてお話をされました。

続いて、吉原真治様(昭28化)による特別講演が行なわれました。

ご自分の趣味である「飛行機の操縦」を中心に、現在のお仕事などのエピソードを交えてお話をされました。

飛行機が落ちない(飛ぶ)ことの実演を交えてユーモアあふれる楽しいお話に、皆さん時の経つのを忘れて、開入っておられました。(詳細は、東都会報に掲載します)

特別講演の感動の余韻を残

## 第12回中京同帰会総会

第12回中京同帰会総会は平成22年5月29日(土)、名古屋市内の日本ガイシフォーラム(旧サン笠寺)にて開催されました。

同帰会本部から大佐古会長と黒田副会長、学校から多田限事務局長と中村事務局長、東都同帰会から山本事務局長と中村副幹事長、関西同帰会から弘幹事長と西谷副幹事長の来賓8名の出席を頂き中京同帰会員14名が出席して開催されました。

中京同帰会では、総会開催を隔年毎に実施しています。今回で、12回目の開始で歴史を刻み続けており会員が共に歩んでおります。

総会では主議題の役員改選が行われ、新会長に前副会長の野田重信(昭33機)、名誉会長に前会長の野崎幸雄(昭26機)、顧問に前名誉会長の高田春男(昭21機)さんを選出し今後の運営にあたることになりました。

総会は、上田利之(昭34採)副会長の開会宣言で始まり野崎前会長の挨拶に続き、来賓の多田限事務局長、大佐古会長、山本事務局長、弘幹事長から挨拶を賜りました。

その後、平成20年度と21年度の活動報告並びに平成22年度活動計画案を境春幸(昭42電)幹事長から報告されました。

主な内容は、平成20年度は会員に加え家族の参加で好評だった「木曾川昼鶴飼親睦会」「学校創立百周年記念式典」への参加。平成21年度は「下呂温泉一泊旅行懇親会」「三役会・幹事会」など会の運営活動報告がありました。

平成22年度と23年度の行事計画は、夏の暑気払い「一夜の名古屋港屋形船親睦会(8月)」冬の親睦「忘年会(12月)」と各支部総会への派遣計画などが提案され承認されました。

更に須崎賢志(昭42電)會計より會計報告と池田英穂(昭43機)會計監査から総会資料に基づき、適正に処理されていることが確認されたと會計監査報告がありました。

最後に、上田副会長の閉会の挨拶で無事に終了しました。その後、出席者全員で記念撮影を行いました。その後、出席の会場を移動し懇親会に入りました。

初めに来賓を代表し黒田副会長に挨拶を頂き、野田新会長が就任挨拶並びに乾杯の音頭で懇親会に入りました。

本部から差入れの黒田家「草木饅頭」に懐かしい味と大牟田を思い出しました。会場では、バイキング方式の料理で楽しみ各所で笑顔や笑い声が響き親睦の輪

鳳凰堂(十円玉のデザイン)をバックに記念写真を撮り鳳翔館で国宝鳳凰、平安時代の浄土教美術等を見学後、宇治川の流れを見ながら明日の総会場所の大阪リバーサイドホテルに向かい、ホテルで古賀(延)、田中(龍)伊藤氏を交え大阪城、淀川が見下ろせるホテル11階で懇親会を開き、母校・本部・各支部の情報交換等団契の中話しが弾みましました。最後は明日の総会の盛會を祈りお開きとなりました。

古閑紀男(昭34化)

(総会)  
第27回関西同帰会支部の総会が平成22年5月23日に開催されました。

場所は大阪市桜ノ宮「大阪リバーサイドホテル」です。出席者は来賓10名、会員42名、合計52名です。

総会は濱本(昭37化)の開会宣言で始まり、古閑紀男幹事(昭34化)の司会で総会の議事進行が行われました。

奈良岡関西支部会長は挨拶で、最近の大きな出来事は①

名前が企業で評価されている事を維持してゆくと日々尽力されている事に感銘を受けました。この話に続いて古賀顧問は後輩たちが全国に就職し「名門三池工業高校」の名前が更に広まることを期待する旨の熱い思いを語られました。お二人の話は予想しなかつた事でしたがこんな場所ではないと聞けない良い話でした。

最後は万歳三唱で締め、来年の再会を願って散会しました。

濱本俊春(昭37化)

したまま、二部の懇親会に移行しました。

懇親会は、全員の記念写真撮影後、太田節也(昭37採)司会の開会宣言、出席者最長老の馬場政常様(昭23採)の乾杯の音頭で始まりました。

その後、各支部から出席された方々からご挨拶を頂きました。

場内はあちらこちらで、賑やかな懇談や笑い声で、満ちていました。

講演の吉原先輩から、大石顧問は学生時代に名ボーカリストであった、との紹介があり、ご本人からお話をして頂いた。その他の会員の出席者の紹介と一言挨拶を行い、好評でした。

恒例の3世代の校歌斉唱で益々、盛り上がりつつありますが、お開きの時間が近づき、大内副会長の中締め、そして司会者の閉会宣言で、懇親会の幕を閉じました。

山本政光(昭36機)

が広がり懇親が続きました。カラオケでは、皆さんの日頃の自慢の喉で盛り上がりを見せ、恒例のビンゴゲームではビンゴ!の高らかな声が会場に響き、豪華景品が次々とビンゴ完成者に渡されました。

懇親会も懐かしの校歌斉唱に入り年別に旧校歌を松田亭(昭30電)幹事、新校歌を東茂次(昭41機)のリードで全員が、それぞれの想いを胸に声高らかに合唱しました。

最後は、高田顧問の万歳三唱のご発声で会を締め上げて無事に終了しました。

中京同帰会支部では、「会員の拡大と充実」を目指し、皆さんが参加し易い会運営を行い魅力づくりを念頭に活動中です。皆さんの参加をお待ちしております。

副幹事長 小松 節(昭48機)



第12回三池工業同帰会中京支部総会

# 第24回福岡同帰会総会

平成22年6月27日(日)、12時より福岡市天神の「平和楼」で学校より田中校長、吉田教諭、同帰会本部大佐古会長、黒田幹事、高村幹事、関西同帰会奈良岡会長と西谷副幹事長のご臨席を頂き会員31名が出席し第24回定期総会を開催しました。

総会には日高(昭39化)の開会宣言。境(昭42電)副支部長の司会が始まり、初めに逝去された山田一男(昭18化)、浦恒記(昭29化)に対し黙祷を捧げご冥福を祈りました。



後藤会長から来賓と出席の会員へ謝辞の挨拶がありました。続いて、田中校長より、第9回高校生ものづくりコンテスト(旋盤作業部門)福岡県大会で大久保慎二郎(子機3)君が優勝。陸上部では「一〇」のハードルで村吉猛(電3)君が九州大会優勝。平成21年度の生徒の皆勤率75%など秀れた成績が報告されました。

西川(昭32電)幹事長より平成21年度活動報告と平成22年度行事活動計画案について説明がありました。続いて、中野(昭41電)会計幹事より平成21年度会計報告と平成22年度予算期間修正案の説明の後、毛利監査役より平成21年度の会計監査報告があり出席者全員の了承を得て総会は終了しました。

本部の大佐古会長からは、角田副会長の病状の快復や同帰会の現状報告、黒田幹事は、同帰会組織の低下などの影響をなくすよう組織拡大や本部ホームページの充実に取り組みむこと等の報告がありました。

関西同帰会奈良岡会長は、会員拡大の為、4月から関西同帰会ホームページ開始や、関西読売新聞の山村社長が開催するゴルフ甲子園(毎年5月開催)に参加していますが、最近減っています。福岡同帰会の会員の参加を歓迎しますと挨拶がありました。

南里副幹事長(昭34機)の締の後、鹿児島県出水市から初参加の坂口会員指導で校歌斉唱。秀才教育、三池の尾根(大佐古本部会長独唱)、三池山緑輝ひを合唱しました。

本部の高村幹事より招待のお礼と福岡支部の益々の発展を祈念して万歳三唱があり最後は、日高事務局長が次回の再会と出席者の増える事を約束し無事総会は終了しました。

事務局長 日高初義(昭39化)

# 昭28機卒クラス会

第7回クラス会(隔年開催)は、平成21年11月11日から3日間の予定で、11名が集い地元、大牟田で開催。

今回は、大牟田での要望があり初回に続き二度目の開催となった。

初日は午後、大牟田駅に集まり再開の喜びのなか、母校を訪ね、大村信介(昭46電)先生の出迎えを頂いた。

学校概要の説明後、校内を回り卒業以来、初めて訪れた人も懐かしさに触れ、訪れて本当に良かったとの思いを胸に宿泊地

ホテルセキヤに向った。懇親会では、新ためて再開を喜び合い参加できなかった人達の消息を確かめつつ遅くまで語り合った。

翌日は、日本の近代化に貢献、大牟田の発展の礎となった石炭関連の跡地の宮原坑など「大牟田近代化遺産」などを巡った。なかには在学中に住んでいた社宅跡などを見て記憶をたどっている人もいて、石炭への思いを後に、二泊目の「おおむたハイツ」に向った。

大牟田市の北に位置する甘木山から見る市内の美しい夜景を眺めながら懇親を深め最後の夜を過ごす。最後の日は、早く帰郷する二人に別れを告げて柳川に向い、柳川名物「うなぎせいろ蒸し」を味わう。次回の開催予定の名古屋での再開を約束して楽しく過ごしたクラス会を終了した。

# 昭30機卒クラス会

昭和30年機械科卒第6回クラス会を東京と日光で13名が参加し行いました。

今回は、関東地区の担当で千葉県君津市在住の寺本正徳君が主に計画しました。一日目は、東京駅八重洲口の「八重洲富士屋ホテル」に九州や地元同級生が、久しぶりの再会を果たしました。

会は、午後6時から始まり一人ずつ自己紹介し卒業以後の仕事や近況について語り合いました。なかには、卒業以来の55年振りに再会する人が2名いました。

翌日は、9名が参加して、はとバスで日光・中禅寺湖周遊の観光に出発しました。浅草付近では建設中の話題の東京スカイツリーを右に見て、その高さに一同びっくりしました。出発して約2時間で目的地の日光に着。華厳の滝や世界遺産の日光輪王寺、東照宮、二荒山神社など巡り見物し楽しみました。バスと別れてJR日光駅前よりホテルのシャトルバスで霧降高原にある「ホテル日光霧降」

た。懐かしさで話しも弾み遅くまで旧交を深めました。

翌日は、9名が参加して、はとバスで日光・中禅寺湖周遊の観光に出発しました。浅草付近では建設中の話題の東京スカイツリーを右に見て、その高さに一同びっくりしました。出発して約2時間で目的地の日光に着。華厳の滝や世界遺産の日光輪王寺、東照宮、二荒山神社など巡り見物し楽しみました。バスと別れてJR日光駅前よりホテルのシャトルバスで霧降高原にある「ホテル日光霧降」

に向い車窓からローズ色のつつじが木々の緑とのコントラストの鮮やかさを楽しみなながらホテルに着きました。早々と温泉の大きな湯舟で旅の疲れをおとし懇親会では更に親交を深めました。

最終日の28日は、ホテルを出発して東武日光駅から電車で浅草に着き正午頃、次回の再会を約束し別れを惜しみながら解散しました。

橋本圭一(昭30機)



# 橋本圭一さんは大牟田郵趣会で活躍中!!



橋本圭一(昭30機)さんは、切手収集で知られ大牟田郵趣会会長で活躍されています。

収集を始めるきっかけは、家に届く手紙の切手を見て感ずるものがあり高校生の時、郵趣会に入会しました。その頃、毎日新聞社主催の全日本切手展青少年の部で入賞し大変びっくりしました。

切手の魅力は、デザインにある発行の国々の歴史・地理・美術・人々の暮らし等が描かれ文化が見てとれます。収集の郵便切手の背景を調べてみますとそれぞれの文化に触れることができ新しい知識も知ることが出来ます。

郵趣会では、切手収集の楽しさと面白さを一般の皆さんに知って頂くとうと郵便局や地区公民館などで切手展を開いています。大牟田郵趣会は、職業の違つた多くの人が集まり昭和23年に創立。デパートで切手展を開くなど熱気がありました。最近は入会者も少なく残り残念な思いです。

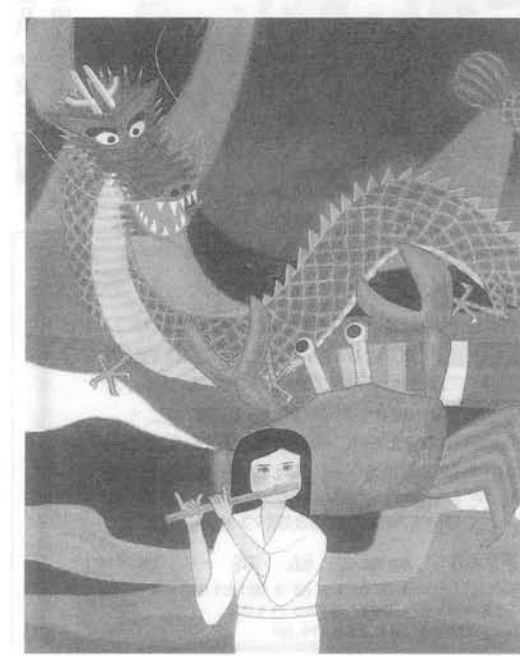
平成20年4月より会長になりました。

会報の発行も続き、会員の交流に務め切手の世界を知って頂くよう努力します。と熱っぽく話して頂きました。

橋本さんには、他にも切手に負けない童画の世界があり、平成21年、第35回現代童画展に地元の民話を題材にした「つがねの恩返し」で入賞され現在、現代童画会員で活躍され忙しい毎日過ごしておられます。又、自身がデザインされた大蛇山と臥龍梅の風景印が大牟田三池郵便局で平成14年7月より使用されており才能の豊かさを発揮し、地元文化の発展に大きく寄与されています。



私の作品が採用され三池郵便局の消印に使用されています。



# 会報『同帰』購読料 有難うございました

多くの方々の暖かいご協力を頂き第32号を発行する事が出来ました。  
「同帰」を心から応援及び励まして頂く皆様へ感謝と共に、これからも宜しくお願い申し上げます。  
また、購読料以上の振込を頂いた方のお名前をご紹介します。  
(平成21年4月～平成22年3月)

- |         |          |          |         |         |           |         |         |           |         |         |           |         |          |           |         |           |         |         |           |         |         |           |
|---------|----------|----------|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----------|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|
| 上野 昭23機 | 憲一 昭23機  | 旧職員 昭25機 | 深川 昭26機 | 郷美 昭26機 | 昭23機 昭23機 | 白山 昭26機 | 高 昭28機  | 昭28機 昭28機 | 田中 昭28機 | 龍身 昭30機 | 昭30機 昭30機 | 山辺 昭30機 | 俊幸 昭32機  | 昭32機 昭32機 | 安藤 昭33機 | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 森山 昭12化 | 一夫 昭15機  | 旧職員 昭16化 | 藤本 昭17探 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 山澤 昭26電 | 清 昭28電  | 昭28機 昭28機 | 古賀 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 前田 昭30機 | 幸之助 昭33電 | 昭32機 昭32機 | 古賀 昭33電 | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 吉村 昭15機 | 弘光 昭16化  | 旧職員 昭17探 | 前村 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 澤手 昭26電 | 寅 昭28電  | 昭28機 昭28機 | 上田 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 小宮 昭30機 | 健次 昭33電  | 昭32機 昭32機 | 加賀 昭33電 | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 山下 昭16化 | 芳見 昭17探  | 旧職員 昭18電 | 江崎 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 嶋 昭26電  | 和夫 昭28電 | 昭28機 昭28機 | 坂本 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 中野 昭30機 | 正憲 昭33電  | 昭32機 昭32機 | 石川 昭33電 | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 中村 昭17探 | 博一 昭18電  | 旧職員 昭18電 | 堤 昭18電  | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 弘 昭26電  | 了介 昭28電 | 昭28機 昭28機 | 高井 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 林田 昭30機 | 義男 昭33電  | 昭32機 昭32機 | 飯干 昭33電 | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 城後 昭17探 | 建次郎 昭18電 | 旧職員 昭18電 | 河野 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 代 昭26電  | 貢 昭28電  | 昭28機 昭28機 | 堀岡 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 野田 昭30機 | 幹興 昭33電  | 昭32機 昭32機 | 栗原 昭33電 | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 中野 昭18電 | 武九 昭18電  | 旧職員 昭18電 | 伊藤 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 桑野 昭26電 | 速水 昭28電 | 昭28機 昭28機 | 宮崎 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 吉武 昭30機 | 正巳 昭33電  | 昭32機 昭32機 | 竹下 昭33電 | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 浜田 昭18電 | 泰生 昭18電  | 旧職員 昭18電 | 福嶋 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 櫻井 昭26電 | 三 昭28電  | 昭28機 昭28機 | 瀬戸 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 井上 昭30機 | 好男 昭33電  | 昭32機 昭32機 | 東 昭33電  | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 江崎 昭18電 | 和行 昭18電  | 旧職員 昭18電 | 赤星 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 三宅 昭26電 | 欽 昭28電  | 昭28機 昭28機 | 大町 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 伊藤 昭30機 | 政春 昭33電  | 昭32機 昭32機 | 東 昭33電  | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 勝本 昭18電 | 正寿 昭18電  | 旧職員 昭18電 | 松崎 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 富森 昭26電 | 和彦 昭28電 | 昭28機 昭28機 | 野口 昭28電 | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 北原 昭30機 | 輝 昭33電   | 昭32機 昭32機 | 東 昭33電  | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 山平 昭18電 | 三津男 昭18電 | 旧職員 昭18電 | 西山 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 江崎 昭26電 | 和彦 昭28電 | 昭28機 昭28機 | 渡 昭28電  | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 北原 昭30機 | 輝 昭33電   | 昭32機 昭32機 | 東 昭33電  | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |
| 伊藤 昭18電 | 三津男 昭18電 | 旧職員 昭18電 | 西山 昭18電 | 美 昭17探  | 昭23機 昭23機 | 江崎 昭26電 | 和彦 昭28電 | 昭28機 昭28機 | 渡 昭28電  | 身 昭30探  | 昭30機 昭30機 | 北原 昭30機 | 輝 昭33電   | 昭32機 昭32機 | 東 昭33電  | 昭35機 昭35機 | 中村 昭35機 | 賢司 昭37機 | 昭37機 昭37機 | 廣崎 昭38機 | 和毅 昭38機 | 昭41機 昭41機 |

(敬称略)

## 末村重雄様(高崎市在住)より 今年も野球部へ暖かいご支援!!



東都同帰 会顧問の末村重雄様(昭18探)より、激励と御浄財を頂き感謝申し上げます。

野球部は、夏の大会前の練習試合で九州学院や佐賀学園など、九州各県の強豪校とも互角に戦える力を付けてきていました。そのような中迎えた第92回全国高等学校野球選手権福岡南部大会は、1回戦水産高校に12-0



の5回コールドで勝利し、3年ぶりの校歌を、全校応援で球場に来ていた生徒、職員全員で歌うことができました。しかし2回戦で八女高校と対戦しましたが、1-2で惜敗し甲子園出場はなりません。末村様の心温まるご支援には本校のさらなる発展と野球部の躍進でお返しするとともに、職員一同、母校のために邁進して



いく所存でございます。末村様のご健勝を心からお祈りいたします。誠にありがとうございました。



逆転を許しスタンドの応援も届かず三回戦に進むことができなかった。

## 三池工業優勝 マスターズ甲子園出場

マスターズ甲子園2010年福岡県大会(福岡県マスターズ甲子園連盟主催)は、4月に予



戦が始まりました。7月25日、大牟田延命球場で準決勝と決勝戦が行われ三池工業は、伝統の最後まで全力を尽くすプレーが選手を支え、劇的な逆転勝ちで甲子園出場への切符を手に入れました。結成以来4年目の快挙で全員の願いが届き、球場での胴上げで喜びを爆発させました。

ここまでくるとは、チーム編成、選手集めはもちろん練習の場所の確保にありました。幸い学校側のご理解を頂き、現野球部の監督はじめ野球部員の側面からの支援に支えられた事に感謝を申し上げます。マスターズ甲子園は、同窓会

チームとして結成され、高校野球経験者が、当時を振り返り苦楽を共にし涙流したあの頃にタイムスリップ出来る唯一の場所なのです。

マスターズ甲子園大会は、11月13日と14日の2日間、阪神甲子園球場で開催される本大会で福岡県代表と対戦が決まっています。今後共、御支援賜りますようお願い申し上げます。

結果 (2回戦) 大川 020404-10 三池工 222004-10 (決勝) 三池工 000103-4 久留米商 002000-2

## 大牟田「大蛇山」まつり

第49回おむた「大蛇山」まつりは、7月19日「海の日」をはさみ三川町界隈周辺で賑わった。7月24日から市内大正町のおまつり広場に舞台を移しクライマックスとなる「二万人総踊り」と歴史と伝統ある祇園六山の巡行や競演が沿道の観衆を魅了した。



発信。今後共、学校と「同帰」への理解を頂けるようお願いする。

## 計報

謹んでご冥福とお祈り申し上げます

- |       |       |       |       |      |        |       |       |       |       |      |       |      |       |       |      |        |
|-------|-------|-------|-------|------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|--------|
| 津田 美年 | 三宅 欽次 | 手塚 友次 | 小宮 正人 | 中村 宏 | 中野 健次郎 | 桑野 速水 | 島田 昭雄 | 馬場 英雄 | 西山 禧子 | 城 徹  | 佐田 秀幸 | 梅崎 保 | 川島 憲一 | 山田 一男 | 浦 恒記 | 西村 多喜男 |
| 昭17機  | 昭16電  | 昭11機  | 昭17機  | 昭18探 | 昭29機   | 昭20探  | 昭29機  | 昭20探  | 昭29機  | 昭35化 | 昭51機  | 昭28探 | 昭18化  | 昭18化  | 昭29化 | 昭29化   |

## 関西同帰会もホームページ始動しました

アクセス要領 http://sankoudouki-k.life.coocan.jp または 三工関西同帰会→HOMEトップへ 三池工業高校 ⇄ 関西同帰会 (どちらからもリンクされています)

ホームページの内容・その他 会長挨拶・役員名・行事案内・報告・コラム(写真多数)

ホームページからの連絡 お問い合わせせ・ご意見は事務局のページにあるボストのアイコンから入ります。

どの支部にも加入してない方 連絡をお待ちします。中国・四国地方のかた関西同帰会行事に参加しませんか。

原稿募集 関西同帰会会報第26号の原稿を募集しています。卒業生であればどんなでも結構です。会報を無料でお送りします。

関西同帰会事務局 幹事長 弘 英一 (昭29探) 〒584-0072 大阪府富田林市高辺台3丁目3番地18-104 TEL/FAX 0721-28-7959・090-8755-1102 Email/hiro\_em@jcmo.zaq.ne.jp

### 美ら島沖縄インターハイを終えて

お陰様で今年も陸上部の村吉 猛君(電気科3年)が2年連続110mハードルで全国大会へ出場する事ができました。昨年、奈良インターハイでは予選敗退の悔し涙で帰ってきました。今年は何が何でも決勝進出と自己ベストを目標に掲げ、激しい冬期練習に耐えてきましたが、3月初旬疲労骨折になり、3月4日は走る事ができず心配しておりましたが、強い精神力で沖縄インターハイの出場権を獲得しました。

8月2日予選では組1着14"84の自己ベスト、準決勝でも14"55での自己ベストでした。準決勝進出者24人中12番目で残念ながら決勝に出場することが出来ませんでした。しかし、冬期練習を考えますと、よくここまで諦めず頑張ったと思います。

最後になりますが、同帰会からこころ暖まるご支援を頂き有り難うございました。

陸上競技部 顧問 蓮尾稔郎



# 第9回高校生ものづくりコンテスト大会

## 九州大会で実力を発揮!!

平成22年7月18日、熊本県立玉名工業高校において第9回高校生ものづくりコンテスト九州大会が行われ、本校から旋盤作業部門に電子機械科3年の大久保慎二郎君が出場しました。

この高校生ものづくりコンテストは、旋盤作業部門・電気工部門・電子回路組立部門・木材加工部門・測量部門・化学分析部門・自動車整備部門の7部門に分れ、それぞれの専門性を生かした課題を作り上げます。今回本校生徒が出場した旋盤作業部門では、普通汎用旋盤を使用し2時間以内で、部品1(オス部)と部品2(メス部)を作り、それぞれの寸法精度や仕上げ面の仕上げり程度、ねじ山の仕上げり程度、ねじのかん合具合、テーパ部のオス・メスのかん合具合等を審査します。

本校は、電子機械科の河村久男先生が指導されてから、今年も含め5年間で4回の福岡県優勝、九州大会への出場を果たしています。今回はその総仕上げとして、「九州大会優勝」、「全国大会出場」を目標に掲げ、日々の練習に励んできました。練習では寸法精度を第一に考え、「寸法公差以内にできた」ではなく、「常に寸法公差の中間」を目指し工夫しながら製品を作っており、その精度は、1000分の5mmです。他の高校と比べると、製品提出時間は少し遅くなりますが、良い製品ができあがります。

今回の九州大会では、普段本校で練習している旋盤と違い、縦送り目盛りがなく製作手順を大幅に変更しなくてはなりません。福岡県大会が終わってからの約1ヶ月間、新しい製作手順になれるため、猛特訓が開始されました。特訓の成果もあり、これで本番やれるという状態までたどり着き、いよいよ本番です。九州大会本番では、各県の予選を勝ち上がった強豪が出場してきました。本校生徒もその中で極度の緊張を感じながら、一生懸命に製品を作り上げ提出し、結果九州大会5位という成績を収めました。

今回、全国大会への出場は残念ながらありませんでしたが、三池工業高等学校機械系工作部の歴史と伝統を後輩達に引き継ぎ、来年こそは、悲願の全国大会出場を果たしたいと思います。顧問 中島健佑



### 龍城館だより



龍城館が完成したお陰で、生徒のより活発な活動が行われています。夏休みには1泊2日で生徒会主催のリーダー研修会があり、2学期に行われる体育祭・文化祭などの学校行事について生徒会執行部を中心にして活発な討論が行

われていました。また、部活動の合宿にも頻りに利用されています。さらに同帰会の会議は勿論のこと、各会議にも利用されています。様々な用途で利用されており、龍城館は大変活用されています。これからも三工生の活躍を応援する場所として龍城館は利用されていくことでしょう。



### 第41回 全国高等学校定時制・通信制 体育大会結果報告

#### 剣道 8月2日(月) 日本武道館

(出場生徒) 機械・電気科3年 野口 智弘  
機械・電気科4年 松本 卓



#### \*男子団体戦(予選リーグ)

- 1試合目 福岡県 5-0 福岡県 (勝利)
- 2試合目 福岡県 2-1 栃木県A (勝利)
- 3試合目 福岡県 3-0 大阪府A (勝利)

#### \*3勝にて予選リーグ突破

- 準々決勝 福岡県 3-1 東京都A (勝利)
- 準決勝 福岡県 0-5 神奈川県A (敗退)

#### \*男子団体 第3位

#### \*男子個人戦(出場生徒)

- 機械・電気科3年 野口 智弘
  - 1回戦 野口 - コ 北原(埼玉県)(一本負け)
- 機械・電気科4年 松本 卓
  - 2回戦 松本 メメ - 新妻(青森県)(二本勝ち)
  - 3回戦 松本 コ - コメ 深津(愛知県)(二本負け)

#### 陸上 8月13日(金)~15日(日) 国立競技場

(出場生徒) 機械・電気科4年 舟木 翔

#### \*男子100m

- 予選 7組 3着 タイム 12秒23(予選通過)
- 準決勝 2組 2回目のフライングにより失格

## 2010柳川ソーラーボート大会/電気系工作部

平成22年7月31日(土)・8月1日(日)

- [1日目] 周回レース予選: 柳川川下りコースを1周(3.1km)  
※全国から学生の部に29艇出場し、上位10艇が決勝へ
- [2日目] 周回レース決勝: 同コースを3周(9.3km)

結果: 予選リタイア(川下り船を避けて橋桁に激突し、走行不能)

今年はスクリューを、予選用の高速走行タイプと決勝用の省エネ走行タイプの2タイプを準備したり、ソーラー発電量を増大させたりするなどの工夫を盛り込み、良好な仕上がりでした。本番の予選では、スタート直後から他の船を引き離し、先にスタートしている船をどんどん追い越していきました。しかしながら、約2kmの地点(コースの2/3)を走ったところで、川下り船を避けて橋桁に激突してしまい、リタイアとなりました。そのアクシデントがなければ、予選で3位に、決勝で2位になる練習タイムが出ていましたが、勝負は時の運です。部員達は、エコデンカー、マイコンカー、競技ロボットの製作と並行しながら、猛暑の中、製作や練習に頑張りました。来年こそは、この悔しさをバネに優勝しようと誓い合いました。



- 部顧問 古賀久光・北高亮
- 部員 松本直樹(電気科3年)
- 池末俊輔(電気科2年)
- 山田直亮(電気科2年)
- 高椋大樹(電子機械科1年)
- 高椋慎也(電子機械科1年)
- 田中陽平(工業化学科1年)

### 平成21年度 進路状況

職業	人数	就職	進学	その他(公務員)	就職未定者	合計
農業・林業・漁業	0	148	13	56	4	222
建設業	20	13	161	56	4	222
製造業	91	13	161	56	4	222
電気・ガス・熱供給・水道業	7	13	161	56	4	222
情報通信業	1	13	161	56	4	222
運輸業・郵便業	8	13	161	56	4	222
卸売・小売業	9	13	161	56	4	222
金融業・保険業	0	13	161	56	4	222
不動産業・物品賃貸業	0	13	161	56	4	222
学術研究・専門・記述サービス業	3	13	161	56	4	222
宿泊業・飲食サービス業	1	13	161	56	4	222
生活関連サービス業・娯楽業	0	13	161	56	4	222
教育・学習支援業	0	13	161	56	4	222
医療・福祉	3	13	161	56	4	222
複合サービス事業	2	13	161	56	4	222
サービス業(他に分類されないもの)	3	13	161	56	4	222
公務(他に分類されないもの)	0	13	161	56	4	222
分類不能の産業	0	13	161	56	4	222
合計	148	148	161	56	4	222

**進学**  
4年制大学... 28名  
短期大学... 0名  
専門学校... 28名

**公務員**  
自衛隊... 4名

#### 就職

学校紹介による内定率が99.3%  
合格率では、63.0%(合格者数/推薦延人数)

